

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	星城大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	セイジョウダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	経営学部
	担当教職員名・役職	キャリア開発委員会
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	29
	受入企業等数	32
	受入企業等名	(株)JTB中部、社会福祉法人愛光園、(株)ヤマナカ、近畿日本ツーリスト(株)、長野県庁、フジキュー整備(株)、(株)ベネッセ・スタイルケア、宝交通(株)、豊川信用金庫、(株)げんきの郷、東海商工会議所、野村證券(株)、NPO法人半六コラボ、名古屋トヨベツト(株)、(株)トットメイ、知多メディアスネットワーク(株)、東海市役所、知多市役所、日本インフォメーション(株)、(株)ファブリカコミュニケーションズ、日本事務機(株)、(株)買取大国、岡崎信用金庫、(株)ハーティシステムアンドコンサルティング、(株)プレイン・ゲート、東海日産自動車(株)、ディービーティー(株)、河村電器産業(株)、(株)沢田工務店、ATグループ、リコージャパン(株)、トヨタカラー名古屋
	インターンシップの分類	6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ、7.中小企業でのインターンシップ、8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事、2.企業等における課題の解決(例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外で実施している就業体験の内容(記述欄)	
要素②	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実業務の体験の他、経営課題の中でも比較的簡易なテーマを与えてもらい、複数職場での業務を体験しながら、自分なりの課題解決策を考案していき、最終的にプレゼンする内容等。
	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している、6.当該インターンシップは、選択科目として実施している、7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している、8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
要素③	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	3年前期途中からガイダンスや事前研修を行い、夏季休業中～11月までを就業体験期間として実施している。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている、3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている、4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	学生の希望に応じた面談・相談
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	ガイダンスにおいて、インターンシップそのもの、インターンシップに参加する目的など理解を深めた後、エントリーシート作成のための講座、ビジネス・マナー講座を順序立てて実施している。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	就業体験時に日々作成した日報を1500字以上のレポートに纏めなおすことで内省させ、また就業体験でどのような気づきを得て、それを今後の就職や就職活動にどのように活かしていくか、その発展性を構想させている。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	就業体験中に生じた不安や悩みに対して、学生の希望に応じ、直接の面談、eメールでの相談、また受入企業へのお礼状添削など対応している。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事後学習で作成したレポートを複数教員で採点して、各学生の内省の深さ・気づきの多さ等を吟味し、教育効果の定性的な把握に努めている。
	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい

要素⑤	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している。3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間1～2日間を複数企業合わせ、合計5日間以上
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄) 5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実施期間5日以上就業体験先を中心に派遣しているが、その期間設定で学生の希望・興味とマッチングする企業がない場合は、1～2日間受入の企業複数に派遣し、5日以上という単位要件を充足するよう指導している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業評価票(大学が作成した依頼状および評価フォーマット)・返信用封筒を、大学から企業担当者に郵送、あるいは学生から手渡して、採点済の評価票を返送してもらう。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	星城大学
	担当部署名	経営学部
	担当者役職名	キャリア開発委員会 担当
	担当者氏名	西村・秋山(教員)、加藤(キャリア支援課)
	電話番号	052-686-0031
メールアドレス	career@seijoh-u.ac.jp	